

都医NEWS

Vol. 685

東京都医師会 定例記者会見	01
底流/地区医師会長連絡協議会報告	
令和4年度 東京都大学医師会連絡協議会	02
みどりの広場 ほか	03
ふれあいポスト ほか	04
感染症豆知識 ほか	05
地区医師会長からの一言	06

発行所 ■公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL. 03-3294-8821(代) 定価 ■ 1部77円



荒川赤羽桜堤緑地の桜並木

東京都医師会 定例記者会見

新型コロナ5類移行に向け、対応と対策が必要

東京都医師会は2月14日(火)に定例記者会見を開催し、新型コロナウイルス感染症の5類への移行およびかかりつけ医機能等について見解を示した。

5類移行に向け、段階的な見直しを!

尾崎治夫会長は「5月より新型コロナウイルスの感染症法上の類型が2類相当から5類へ移行される。スムーズな移行に対応するためには、マスクの着用やワクチン接種、医療提供体制などの課題について、段階的に見直していくことが必要だ。新型コロナウイルスは感染力が非常に強い。基礎疾患をもつ高齢者が多い診療所等では、空間的・時間的に動線を分けられない場合、コロナ診療を行うことは難しい。受け入れができない医療機関には、患者を診療・検査医療機関につなげる役割を担ってほしい」と述べた。

また、マスクの着用については「屋外での着用は原則不要と考える。屋内については換気状態や空気清浄機の設置等の環境整備など、マスクを外しても安全だ」という客観的な指標が必要だ」と語った。

ウィズコロナの医療提供体制

猪口正孝副会長は「新型コロナウイルスの新規陽性者数および陽性率、入院・重症患者数が継続して減少している一方で、救急医療の東京ルール適用件数は減っていない。これまでに救急医療機関は、新型コロナウイルス以外で搬送された患者が入院中に陽性になり、院内クラスターが起きるといった経験をしてきたため、現在もしばらく個室で健康観察を行い、検査で陰性が確定してから大部屋に移して対応している。この状況は今後も続くことが予想され、感染症ならではの対応の難しさについて検討していく必要がある」と説明した。

高齢者施設における、5類への移行の影響

平川博之副会長は「他世代と比較して、高齢者では季節性インフルエンザに比べ新型コロナウイルスによる重症化率・致死率が高く、5類に移行しても従来からの感染対策を緩めることはできない。現場は危機意識を持っており、分類が変更されても支援策の継続を求めている」と訴えた。

ワクチン接種の効果、意義、疑問点

新井悟理事は、新型コロナウイルスの2価ワクチンの効果やワクチンの副反応等について最新の知見を紹介したうえで、「ワクチン接種には個人の感染予防と重症化予

東京都医師会が考える「かかりつけ医機能」

尾崎会長は「コロナ禍で、かかりつけ医の役割が注目されたが、1人の医師が24時間対応するのは現実的には難しい。東京都などの大都市には、各科の専門性を生かす1つ1つをライマリ・ケアを行う開業医が集まっている。患者情報を共有のもと、各科開業医が連携してかかりつけ医機能を発揮することで、在宅医療においても幅広い分野で対応ができる。病気の診断・治療だけでなく、予防も含めて地域住民を見守っていくかかりつけ医が必要だ」と述べた。

土谷明男理事は「東京都医師会では、都市型医療のなかでの実現可能なかかりつけ医機能について議論を重ねている。地域のなかで、各診療科の専門性を生かしてグループとして



尾崎会長



土谷理事



新井理事



平川副会長



猪口副会長

底流

新型コロナウイルス感染症に 気を取られている間にも 超高齢社会の課題は 深刻になっていく

新型コロナウイルス感染症への対応が始まって3年、
超高齢社会の医療課題は確実に深刻化している。

新型コロナウイルス感染症の対応に時間と労力を費やさなくてはならなくなると、もう3年近く経った。1年半前に理事を拝命した頃には、もう新型コロナウイルス感染症の対応で多忙であり、理事会の議題も半分がその関連だったと記憶している。

新型コロナウイルス感染症の対応に時間と労力を費やさなくてはならなくなると、もう3年近く経った。1年半前に理事を拝命した頃には、もう新型コロナウイルス感染症の対応で多忙であり、理事会の議題も半分がその関連だったと記憶している。

地区医師会長 連絡協議会報告

令和5年2月17日(金)

◎都医からの伝達事項

(1) TMA 近未来医療会議「第4回公開シンポジウム」の開催について

度・医療保険制度の未来像(全世代型社会保障および後期高齢者医療制度の見直しも含む)について検討した。

度・医療保険制度の未来像(全世代型社会保障および後期高齢者医療制度の見直しも含む)について検討した。

度・医療保険制度の未来像(全世代型社会保障および後期高齢者医療制度の見直しも含む)について検討した。

度・医療保険制度の未来像(全世代型社会保障および後期高齢者医療制度の見直しも含む)について検討した。

一方で、この3年の間にも以前からつづく超高齢社会の問題は確実に深刻化している。コロナ禍で医療介護従事者の離職に拍車がかかっている。更に諸事情で閉校している医師会立の看護学校・准看護学校もあり、将来的に医療介護従事者が減少していく状態である。また、新型コロナウイルス感染症による海外渡航制限や円安の影響で、日本に外来外国人技術実習生も減少している。2040年の超高齢社会に向けて明るい話題は今のところ見当たらない。

防衛すること、つまり「よく食べて、足腰がしっかりして、よく見えて、よく聞こえる高齢者」を増やせば、結果として医療費削減につながるかもしれない。予防医療を意識して、ヘルスリテラシーの普及・啓発を進めていきたい。私は耳鼻科医なので、聴力障害の早期発見とその指導で、少しでも貢献していきたいと考えている。

タスクシフトやタスクシェアリングが必要となっている。他にもさまざまな発表があったが、どの大学医師会も道半ばの状態という印象であった。一方、医師のための改革ではあるが、特に若い医師にとって重要な「医師としての研鑽」という点においては、これらのシステムでは矛盾が生じるため、これから作業環境を改善していく必要がある。大学医師会からの発表の後、東京都医師会からは「医師の働き方改革の現状について」と題して土谷明男理事が発表を行い、その後は討論および質疑が行われた。



木村日本医科大学医師会長

2月8日(水)、都内ホテルにおいて東京都医師会と連携協議会が開催された。今回は日本医科大学医師会が主管となり、都内13大学医師会が参集した。

180 みのりの広場

第31回日本医学学会総会を 開催するにあたり

第31回日本医学学会総会 会頭
朝日生命成人病研究所 所長
国立国際医療研究センター
名管理理事長

春日雅人



第31回日本医学学会総会を、町エリアで開催します。メインテーマは「ビッグデータが中心とした丸ノ内・有楽 拓く未来の医学と医療」豊か

月20日〜23日)においては、多くの医療関係者が医学・医療の最先端を学ぶとともにその全体像を俯瞰し、豊かな人生100年時代を目指す医療について考える機会を提供したいと思えます。一方、博覧

から学ぶことができる健康・医療の祭典です。より多くの皆様に医学の面白さや素晴らしさ、それに加えて未来の医療についての理解を深めていただける機会となることを願っています。

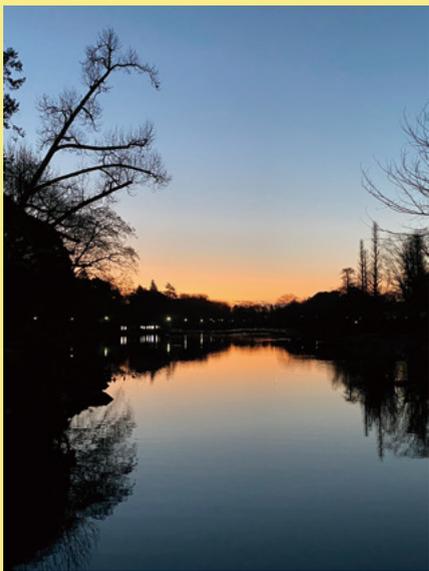
以前に開催された本総会では、学術集会と学術展示、博覧会の場が離れて開催されることが多かったのですが、今回は東京国際フォーラムおよび丸の内・有楽町エリアで同時期に開催しますので、利便性も高く、ぜひ両方に参加していただけたらと思います。

今回は、井の頭公園についてお話ししたいと思います。井の頭公園の中央にある井の頭池は、古くから江戸近郊の名所として知られています。『江戸名所図説』は「池中に清泉湧出する所七ヶ所ありて早魃にも涸る事なし。故に世に七井の池と称ふ」として、徳川家康が池の水を汲んでお茶をたて、その清らかで甘美な水を賞揚したことや、三代將軍家光が鷹狩りに訪れて、池のかたわらのコブシの木に小刀で「井の頭」と彫りつけたのが池名の由来であるという話を伝えています。

はまず、怪我をしないことを目標に駅伝を走りきり、秋から晩秋を迎えました。12月に見ごろを迎える紅葉は、実は初詣までその綺麗な姿を残していました。駅伝で走る習慣をつけたので、今年の1月・2月の寒い季節、雪下の時期にも朝のランニングを続けました。結構朝5時頃から人はいるもので、6時半からのラジオ体操に向けて、ランニングをする人、犬の散歩をする人、さまざまな過ごし方の人に出会いました。

井の頭池は、江戸に飲み水を供給する六上水の一つである神田上水の水源地です。神田上水は、明治維新後まで江戸の飲み水を供給してききました。その後、大正6(1917)年に日本で最初の郊外公園として、都立井の頭恩賜公園が開園しました。2017年に開園100年を迎え、周囲の人々の憩いの場となっています。

井の頭池の周囲は約1.6kmあり、お散歩にはちょうどいい距離です。昨年、三鷹市民駅伝大会が11月24日に行われるにあたって、三鷹市医師会からも「闘走会」というおじさんランナーたちが参加しました。そのイベントに向けて、8月あたりから、私も練習を



冬の早朝

井の頭公園 ジョギングとともに 四季を楽しむ

趣味の散歩

近頃は夜10時までで宴会終了の規制があるので静かですが、昔は桜の葉が充滿する池を地面の続きと勘違いして歩を進めてしまい、池に落ちる人がたまにいました。春から夏、公園は緑に染まり、爽やかな季節を迎えます。その時までジョギングの習慣が続くように、頑張っていきたいと思っています。

(三鷹市医師会・古川秋生)

医学・医療は、これまで以上に速いスピードで大きく変わっていくと予想され、その要因のひとつにビッグデータで体現されるデジタル革命、AI、IoT、ICT、ロボティクスなどに代表される技術革新があります。少子超高齢社会、新型コロナウイルス感染症、医師の働き方改革、地域医療構想などにおける諸課題の解決に向けて、これらの革新的技術をどのように活用できるのか、これらの革

2011年に東京で開催された医学学会総会は、東日本大震災の影響で開催時期や会場の変更などを余儀なくされました。この点を考慮し、実に24年ぶりの東京での開催となります。よろしくご参加の程、お願い申し上げます。

知っていますか?

stiff

医学では、stiff neck(斜頸)、stiff shoulder(肩こり)、stiff person syndrome(スティフパーソン症候群)でお馴染みの英単語であるが、「stiff drink」と使うと強い酒の意味になる。またスラングとして、「死体」や「チップをケチる」の意味もある。

第31回 THE 31st GENERAL ASSEMBLY OF THE JAPAN MEDICAL CONGRESS
日本医学学会総会

ビッグデータが拓く
未来の医学と医療
豊かな人生100年時代を求めて

学術集会	2023年 4月21日(金)~23日(日)
学術展示	2023年 4月20日(木)~23日(日)
博覧会	2023年 4月15日(土)~23日(日)

会場 東京国際フォーラムおよび丸の内・有楽町エリア
会期 春日雅人 朝日生命成人病研究所 所長
国立国際医療研究センター 名管理理事長

日本医学学会総会2023東京 博覧会

からだの「知りたい」がここにある!

「コロナ」から考える感染症の話
知りたい! がん・がん医療
見て・触れて・バーチャルで知る 一医学のあゆみ
五感で楽しむ健康のまち丸の内・有楽町ぐるみ企画

2023年 4月15日(土)~23日(日)
会場 東京国際フォーラムおよび丸の内・有楽町エリア
※開催時間の詳細は公式WEBサイトをご確認ください。

どなたでも 入場無料!

主催: 日本医学学会

特別協力: sysmex

特別協力: 三菱地所

心れあいポスト

各地区会報から

三鷹市医師会 角田 徹

98/100と99/100

コロナとの長い戦いが続く。
中学生の頃から山登りを楽しんでいるが、深田久弥の日本百名山には拘らなかつた。しかし、いつの間にかその97座に登頂するに至った。残り3座となり、完登を意識した矢先のコロナ禍である。2年以上の中断が続いたが、蔓延防止期間が終了した頃、登高意欲も回復してきた。

2022年3月に南アルプス最南端の光(テカリ)岳2,591mを目指した。ハイマツの自生南限の山で世界的にも珍しい。周辺には広大な原生林が保たれている。台風で林道が寸断されアプローチが長く、登頂しづらい山の一つである。頂上付近で積雪が3mほどあり、人も入っていないため樹林帯ではルートが分からず苦勞した。登り10時間、下り6時間かけて往復したが、頂上には5分間しかいなかった。年齢、コロナによる体力の衰えは顕著で、近年では最も辛い山登りの一つとなった。

4月は福岡での会合に合わせて阿蘇山に登った。噴火活動は多少収まってきたものの、火口から1kmの入山規制が続いていた。遠望でのなだらかな山容とは異なり、登路は険しい。ルートを一歩外れると、進退窮まるような場面も多い。火星表面を連想させる赤茶けた斜面を辿ると、阿蘇五岳の最高峰高岳1,592mに登り着いた。苦勞が報われるような快晴の下の眺望であった。

5月には、最北の百名山利尻岳1,721mを狙う。島全体が山のような離島なので、天候は崩れやすく、

雪もまだ深い。登れるかどうかは運に左右されそうだ。

長い戦いのご褒美として、ぜひ100/100を手に入れたいと願っている。

(三鷹市医師会「三鷹醫人往来」
令和4年5月 通巻319号より抜粋)



阿蘇山最高峰高岳 1,592m
快晴の下360度の展望



南アルプス最南端の百名山光(テカリ)岳 2,591m (3月28日)



夕闇迫るも小屋に至らず



1階が雪に埋もれた光小屋



人はいないが内部はキレイで快適



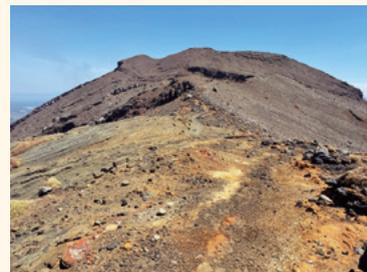
雪底を踏み抜かないよう慎重に辿る
遠景は聖岳3,013m



入山規制中の阿蘇山登山口(4月10日)



全体のなだらかな山容とは異なり、
登路は険しい



火星表面を思わせるような斜面
ルートを外すと進退窮まる



高岳東峰『天狗の舞台』
もう少し遅い時期だとミヤマキリシマが咲き乱れる

東京消防庁救急相談センター

救急相談医長交代のご挨拶

東京消防庁救急相談センター初代医長として、多くの皆様に支えられてここまで勤め上げることができました。深く感謝申し上げます、改めて御礼申し上げます。

さて、救急相談センターは、昨年約44万件の利用状況のなか、現在50名の看護スタッフで、救急相談件数が約26万件(60%)となっております。開設から15年が経過し、救急相談医も地区医師会の皆様のご尽力により、若い医師が多育ってまいりました。令和4年度をもって、医長を三浦邦久先生(墨田区医師会)に、副医長に渡辺寛先生(品川区医師会)に交代することが、東京消防庁救急相談センター運営協議会にて承認されました。大学医師会側医長の森村尚登先生(帝京大学医師会)は、この事業の創始者として、全国の「救急安心センター」をけん引する方でもあり、続投が決定しております。副医長の武田宗和先生(女子医大医師会)もスタッフ教育、事例検証などの中心的存在であり、続投が決定いたしました。

新年度に向け、#7119の運営に更なるご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。
(東京消防庁救急相談センター医長 石原 哲)

東京消防庁救急相談センター受付状況 (速報値)

[令和5年1月1日から1月31日まで]

	累 計	前年件数	前年同時期増減 (増減比)	受付件数に 占める割合	前年 同時期	一日 あたりの 件数
総 着 信 件 数	47,616	42,057	5,559 (13.2%)			1,536.0
受 付 件 数	41,931	38,551	3,380 (8.8%)			1,352.6
救 急 相 談	24,683	22,473	2,210 (9.8%)	58.9%	58.3%	796.2
救 急 要 請	4,222	3,749	473 (12.6%)	(※1) 17.1%	(※1) 16.7%	136.2
医 療 機 関 案 内	17,065	15,882	1,183 (7.4%)	40.7%	41.2%	550.5
相 談 前 救 急 要 請	140	73	67 (91.8%)	0.3%	0.2%	4.5
か け 直 し 依 頼	43	123	-80 (-65.0%)	0.1%	0.3%	1.4
そ の 他 (苦 情)	0	0	0 (0.0%)	0.0%	0.0%	0.0
応 答 率(※2)	88.1%	91.7%	-3.6%			

(※1) 救急相談件数に占める割合

(※2) 応答率とは、総着信件数に占める受付件数の割合(応答率=受付件数÷総着信件数(%))

看護師への医師助言	2,077	2,376	-299(-12.6%)			67.0
通信員への医師助言	620	1,219	-599(-49.1%)			20.0

無声拝聴

「オンライン…」

新型コロナウイルス感染症の繰り返す感染の波に多くの人たちが翻弄されているが、もう一つの波が医療従事者を悩ませている。それは、デジタル化の波である。最近、医療現場でも「オンライン…」という言葉をよく聞くようになった。枕詞に「オンライン」がつくものとして、講演会や診療、資格認証、レセプト送信など、多数ある。

新型コロナウイルス感染症の繰り返す感染の波に多くの人たちが翻弄されているが、もう一つの波が医療従事者を悩ませている。それは、デジタル化の波である。最近、医療現場でも「オンライン…」という言葉をよく聞くようになった。枕詞に「オンライン」がつくものとして、講演会や診療、資格認証、レセプト送信など、多数ある。

(宇野真)

ウイルス感染と胎盤の進化

新型コロナウイルスのパンデミックで感染症の恐ろしさを再認識させられたが、一方でウイルス感染が種の進化に大きな役割を果たしたことが知られている。本稿では、その一例である胎盤の進化について述べる。

胎盤は種によって子宮への浸潤度に違いがあり、ヒトの胎盤は子宮に最も深く侵入する血絨毛性胎盤である。胎盤の出現とその後の進化は、内在性レトロウイルス(endogenous retrovirus: ERV)によりもたらされたことが分かっている*。ウイルスが胎盤の形態を大きく変化させたら、多くの場合は胎盤機能が障害され、その種は絶滅を免れなかったであろう。しかし、奇跡的に胎盤の機能を高めるウイルスが出現した。まず、約1億6千万年以上前にPeg10がゲノムに取り込まれ、卵生の単孔類と胎生の有袋類・真獣類の祖先が分岐した。その数千万年後にPeg11が内在化し、有袋類と真獣類が分岐した。

以後は動物種によって異なるが、ヒトにつながる系統では4000年以上前にSyncytin-2が、その後Syncytin-1が内在化した結果、胎盤の細胞が融合し合体性栄養膜が形成された。この巨大な多核細胞は胎盤の最外層に位置し、胎盤関門として機能した。例えば物質交換のコントロールや、MHC分子を発現しないことで母体からの拒絶反応の回避に寄与している。

タンパク質をコードする遺伝子はヒトの全ゲノムの約2%を占めるに過ぎないが、ERVをコードする遺伝子は全ゲノムの8%も存在する。太古の昔にウイルスがERVとしてゲノムに取り込まれることで多くの機能が獲得され、種の進化の一端を担ったと考えられている。胎盤もその例に漏れず、上記ERVが存在しなければ胎生の種は現れず、従って我々人類も出現していなかったことになる。人類と感染症が切っても切れない関係にあることに改めて気づかされる。

*本稿では、LTR型レトロトランスポゾンもERVに含めた。

(文責：山下隆博)

感染症豆知識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

健康食品との関連が疑われる

健康被害情報について

～体調不良や治療への影響などの情報について提供をお願いいたします～

東京都は、平成18年7月から、東京都医師会および東京都薬剤師会と協力して、「健康食品との関連が疑われる健康被害情報共有事業」を実施しています。医療現場などの医師や薬剤師が探知した健康被害情報を幅広く収集し、「健康食品」による健康被害事例専門委員会において分析・評価を行い、東京都医師会および東京都薬剤師会へ情報提供を行うことにより、健康食品による健康被害の未然防止および拡大防止につなげています。

また、平成30年7月からは、東京都消費生活総合センターから分析・評価の依頼のあった事例についても、収集対象としています。

1 報告事例について

平成18年7月1日から令和4年11月末までに報告があった488事例の内訳は以下のとおりです。

医師会	184人	延べ	265製品 [※]
薬剤師会	206人	延べ	220製品
東京都消費生活総合センター	3人	延べ	3製品
計	393人	延べ	488製品

※複数の製品を摂取していた人がいるため、人数と延べ製品数は一致しません。

2 情報提供のお願い

健康食品との関連が疑われる健康被害を把握して、その対策を立てるためにはより多くの情報の蓄積が必要です。健康被害事例の収集について、更なる取り組みの推進を図るため、一層のご協力をお願いいたします。

【報告方法】 様式「健康食品」情報共有シートを公益社団法人東京都医師会へ提出する。

【重要項目】

- ① 摂取品について(具体的な製品名、製造者名、摂取状況等)
- ② 患者情報(具体的な健康被害の範囲や程度等、基礎疾患、服用医薬品等)
- ③ 転帰等(転帰、投薬および処置の状況、検査値等)

※「健康食品」情報共有シートは、東京都医師会ホームページよりダウンロード可能です。

https://www.tokyo.med.or.jp/health_foods

■問い合わせ先 東京都健康安全研究センター 企画調整部
健康危機管理情報課 食品医薬品情報担当 TEL: 03-3363-3472

日本医師会
医師年金 スマホ・パソコンで簡単手続き

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
(申込みは、満64歳3カ月までにお願ひします)

医師年金 検索

アニメーションで仕組みを確認



シミュレーションで保険料を試算



一括払専用加入申込書プリントアウトで
申込み(保険料のお支払いは後日ご案内します)



※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

お問い合わせ先

日医 年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

医師国保からのお知らせ

被保険者証について

今年、3月末の被保険者証の更新はありません

- 現在お持ちの被保険者証は、2024年(令和6年)3月31日まで有効です。お持ちの被保険者証をそのままお使いください。
- 先生ご自身や従業員、各々の世帯員(家族)に資格の喪失、住所の変更などはありませんか?ありましたら、14日以内に届け出てください。

◎なお、来年度の保険料は据え置きとなります。

各種届出に必要な書類は、ホームページよりダウンロードできます。
www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6433 (業務課)

医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医^{ニュース}NEWS

2023

Vol.
685

地区医師会長からの一言 北多摩医師会のこれまでと、 これからの医療体制

北多摩医師会長 加藤一彦



令和4年8月より、北多摩医師会長に就任いたしました。平成15年5月から平成29年4月まで理事を務め、令和元年6月より副会長として仕事をまいりました。長きにわたり広報を担当しておりましたため、医師会報の編集後記も担当しており、読み返すと医療行政の変化などがわかります。

さて、北多摩医師会は明治44(1911)年に会員数36名で府中称名寺に集い、北多摩郡医師会として設立され、今日に至っています。平成22(2010)年には創立100周年を迎え、今年で113年目となります。もともと、多摩地区の市町村医師会の統合的な医師会として存在し、現在では東村山市医師会を筆頭に、国分寺市・国立市・武蔵村山市・昭島市・東大和市・狛江市・清瀬市の8市医師会により構成される東京都医師会傘下の地区医師会として活動しています。500名を超える会員の意見をまとめ、上部医師会とのパイプ役を担っています。各市医師会の異なる立場、現状から出る意見を尊重し、総合的なものとして東京都医師会そして日本医師会へと伝え、協議してもらっています。

現在も、区部との三多摩格差は確たるものとして存在しています。なかでも重要と思われるものは保健所の不足で、多摩立川・多摩小平・多摩府中の3カ所しかないということです。SARSの時もそうでしたが、新型コロナウイルス感染症においても各保健所の業務負荷が過大となり、地区住民にも十分な配慮ができなかったように思います。地区推薦の国会議員の方からも公約として、保健

所もしくはその業務担当の分室などをせめて調布あたりに開設するようなお話をしていただけませんか、常日頃より思っております。

更にはDX、医療を標的として無理やりデジタル化を推し進めようとする方策はいかがなものかと思えます。過去にも開業医の定年制を持ち出し、日本医師会雑誌に、定年制となれば無医村が増える可能性があるとの論文が載り、頓挫したことがあります。今回もぎりぎりになり、令和4年12月28日付で「オンライン資格確認導入の原則義務付けに係る経過措置」の通達がありました。しかし、これ以前に原則義務付けの内容から、廃院を決めた医療機関もあると思います。ただでさえ、コロナ禍で疲弊している医療機関に対する仕打ちとしては許されざるものだと思います。もう少しお互いが納得できるルールを敷いてくれたら、会員は皆協力を惜しまなかったのではないのでしょうか。リフィル処方箋然り、コンピューターによるレセプト審査然り、更には電子レセプトと上意下達の行政が続いています。なんとか会員の利権を守り、医療を存続させていくために、医師会の仕事をしなくてはと考えています。

そもそも国民皆保険のための保険診療ですが、予算総額が国により決められ、当事者であり仕事をしている医療提供者には意見するような手立てがありません。決められたパイを分け合っている状況です。いくら仕事に勤しんでも、収益は限られています。医師会は、将来の医療提供者たちが少しでも勤労意欲を持てるようにすることが存在意義かと思えます。